

## 皆さんと党市議団の力を合わせた運動の成果 通院が必要な世帯に保険証交付！

伊勢崎市ではこのほど滞納により保険証を取りあげられた世帯に、「医療が必要な場合には窓口申し出れば短期保険証を交付する」ことを郵送で通知しました。

国保税が高すぎて払いきれない世帯が増え、全国で保険証取り上げにより病院に行けず手遅れになるケースが出ています。日本共産党市議団と市民の皆さんで力を合わせて、命と暮らしを守る国保運営を要望してきた結果、実現したものです。3月末まででなく来年度も実施し、払える国保税へ引き下げよう求めています。



写真―昨年6月皆さんから寄せられた1296名の署名を、市長に手渡し要請しました。市長は「個々の状況を充分聞いて対応するよう指示していく」と答えていました。

くらしの痛みがわかり、市民のために働く議会に改革しよう

常任委員会の傍聴が実現しました



議会改革調査特別委員会では「住民に開かれた議会を」と検討が進められています。12月の議会から4つの常任委員会の市民傍聴が認められました。

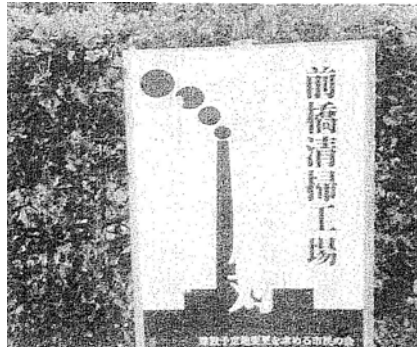
今議会は文教福祉委員会と経済市民委員会に傍聴者があり、請願審査など市民の直接目に触れるかたちで審議され、議会の活性化につながっています。

厳しい批判の声相次ぐ

前橋市の新清掃工場説明会

下増田に計画されている前橋市の新清掃工場計画の説明会が、三郷公民館と宮郷公民館で行われました。パンフレットがたりなくなるほどたくさんの市民が参加し、「なぜ周辺に病院や学校がある場所につくるのか」「伊勢崎市民のことを考えているのか」など厳しい批判が相次ぎました。

前橋市は「環境影響調査を踏まえて前橋市長が判断する」との強硬な姿勢に終始しました。伊勢崎市民の反対の声を大きく広げる運動が、さらに必要になります。



三郷地区で貼り出しているポスター

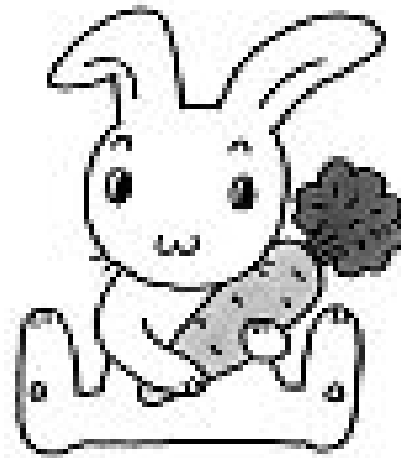
共産党群馬県委員会は11月26日、2011年度予算と施策について、厚労、国交、文科、農水など各省に要請しました。伊勢崎からは長谷田公子議員が参加、塩川鉄也衆院議員、紙智子参院議員が同席しました。

農水省では、コメの高温障害により、「ゴロピカリ」がほぼ全量規格外となっており災害として被害農家を救済するよう要請。担当者が「共済の中で対応する方向」とのべたのに対し、参加者は「実情をしっかりと見て、従来の枠組みだけでない支援策を」と迫りました。

文科省には、義務教育での学校給食費を無償とし、子どもの貧困による教育環境の格差をなくすよう要請。厚労省へは、国民健康保険にしろる国庫負担の割合を増やすことなどを求めました。



農水省にて要請

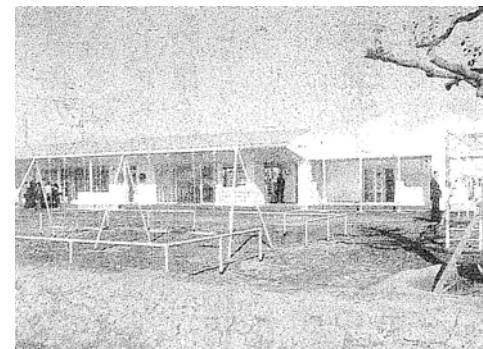


## 教育施設の充実―耐震化・教室不足解消に一步前進

共産党議員団は学校施設の耐震検査すら終了していない現状を厳しく追及、耐震改修を急ぐよう、また特別教室を転用したり、簡易プレハブ教室で学級増に対応する、まにあわせの施設整備を改めるよう求めてきました。遅ればせながら施設整備が少しずつ動き始めました。



建て替え工事が行われている北一小体育館



12月に新築移転した三郷幼稚園新園舎



学級増に対応、増築工事が始まった茂呂小



赤堀消防署東の赤堀中移転計画地



## 高崎市・学校給食自校方式で温かくておいしい給食を

12月20日高崎市の学校給食について視察をさせて頂きました。

旧高崎市がすべて自校方式で行っていたので、合併して加わった榛名町や群馬町の給食センターも老朽化に合わせて年2校ずつ自校方式に切り替えています。

中央小で試食したソースカツ丼は、冷凍でなく調理室でパン粉を付けて揚げたもの。ソースは地元の野菜でつくった高崎ソース。農家からコンテナで届けられた小松菜のサラダ。自校方式だからできることです。安全でおいしい学校給食にこだわる市の姿勢に感心しました。

地元の野菜は割高になるのではと質問したら、農家から直接仕入れ流通経費がかからないので値段は変わらないという話でした。



この給食を食べて育つ子どもは、きつと健康で豊かな心を持って成長できるだろうなと思いました。